

氏高に総裁新自民

決選投票で小泉氏破る

女性初、首相指名へ

自民党総裁選は4日、党本部で投票され、高市早苗前経済安全保障担当相(64)が第29代総裁に選出された。1回目の投票で過半数に達した候補者はなく、上位2人による決選投票の

結果、高市氏が小泉進次郎農相(44)を破った。15日召集を軸に調整が進む臨時国会で、石破茂首相の後継となる第104代首相に指名される公算が大きい。女性首相就任は史上初めて。

衆参両院で少数与党の中、政権安定化に向けた連立枠組みの拡大が焦点となる。総裁任期は、石破首相の残り任期に当たる2027年9月まで。高市氏は幹事長など党役員人事に着手し、新執行部を発足させる。

参院選後の「石破降ろし」で生じた党内の亀裂修復のため、挙党態勢を構築できるかが問われる。

首相に就任した場合の早期の衆院解散は否定している。靖国神社参拝を続けるかどうかは明言を避けている。



自民党の新総裁に選出された高市早苗氏＝4日午後2時55分、東京・永田町の党本部

